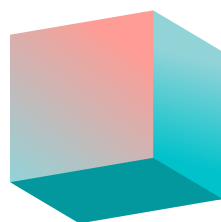


事業の中軸になる アプリ開発

はつかぜ株式会社が提案する
失敗させないアプリ開発



01

DX化を目指す企業が
直面する7つの経営課題

02

はつかぜの実施する
課題解決のアプローチ

03

はつかぜが出来る5つのこと

04

はつかぜがもたらす
5つの結果

05

アプリ開発の手順

06

本資料のまとめ

07

アプリ開発の費用

08

アプリ開発の期間

09

はつかぜへの
お問い合わせはこちら

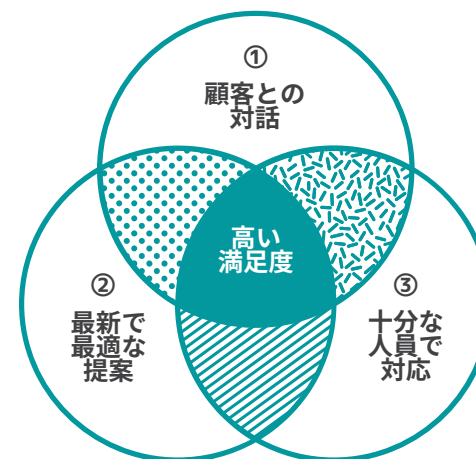
よくあるアプリ開発の「課題」と「解決策」

戦略的にシステムやIT人材を投資してこなかった企業にはいくつかの課題が待ち受けています。それらの課題に対するはつかぜ流のアプローチについてご紹介します。

01 DX化を目指す企業が直面する7つの経営課題

- 01 「人手不足でデジタルの担当者を用意できない」
- 02 「データ活用を目指しているが具体的な方法がわからない」
- 03 「パッケージ型のアプリでは業務に対応できない」
- 04 「顧客との接点が実店舗にしかなくデジタル上での接点がない」
- 05 「ペーパーレスや脱ハンコが遅れており生産性の低さが問題になっている」
- 06 「既存の古いシステムが足枷となって他のシステムが導入できない」
- 07 「デジタルに関する情報が不足しており経営戦略や方針が決められない」

02 はつかぜの実施する課題解決のアプローチ



- 01 企画段階から開発者が参加し、顧客との対話を重ねて、課題解決に向けた明確な方針を打ち出します。
- 02 幅広い業種業態のアプリ・システム開発を行ってきたノウハウと技術を活かし最適な提案を行います。
- 03 海外にある複数社のパートナー企業と協力して、技術者の作業単価を減らすとともに十分な人員でアプリ開発を行います。

はつかぜの 「出来ること」と「結果」

はつかぜでは、顧客の立場に寄り添い「成果が出る」を第一に考えてアプリ開発に取り組んでいます。どんな業種、業態にも対応可能なオーダーメイドで成果重視のアプリ開発がはつかぜの特徴です。

03 はつかぜが出来る 5つのこと

- 01 豊富な機能から効果があるものを選び出し、最新で最適な機能を提案して実装いたします。
- 02 保守や改修を前提として状況変化に対応しやすいアプリ開発を行います。
- 03 古いシステムの顧客・商品データ等を最新アプリに移行して、継続したサービス利用を可能にします。
- 04 アプリ利用者の行動データ等を蓄積して分析することができる仕組みを導入します。
- 05 社内状況や事業内容、求めるアプリなどを丁寧にヒアリングして現状分析を行い、現状にマッチするアプリ開発を行います。

04 はつかぜがもたらす 5つの結果

- 01 選び抜かれた最適な機能により初期費用を抑え、選び抜かれた最新の機能によりユーザーに新たな顧客体験を与えます。
- 02 技術的負債を取り除き、保守や改修による継続的なシステム維持費を抑えます。
- 03 旧データを移行した継続的なサービスにより利便性が高く、今まで通り使えるアプリを実現します。
- 04 データを活用した合理的な意思決定が可能になることで、スピード感のある経営をサポートします。
- 05 業務効率化や働き方改革、ペーパーレス化、脱はんこを実現させ、生産性や効率を高めます。



はつかぜの 「開発手順」と「まとめ」

はつかぜでは、顧客満足度の高いアプリ開発を目指しています。
業務的な外注ではなく、1つのチームとしてプロジェクトを進めて
成果が出るアプリの導入を実現します。

05 アプリ開発の手順

①ヒアリング

顧客が抱えている問題や課題をお伺いし、開発したいアプリのイメージを掴んでいきます

②提案

課題解決に向けて最適な技術や手法を提案します

③要件定義

顧客が求めている要件を整理して、実現するために必要な機能・性能といったシステムの仕様を明確に決めます

④打ち合わせ

画面レイアウトや機能一覧などをもとに最終的な調整を行います

⑤基本設計

要件定義を基に、システムの基本となる設計を行います。操作方法・操作画面・出力方法など

⑥詳細設計

基本設計を基に、システム内部の詳細な設計を行います。機能・動作・構造など

⑦実装

アプリ開発を行います

⑧導入

アプリをAppStoreやGooglePlayに公開する手続きを行います

06 本資料のまとめ

■こんな課題を解決します

- ・デジタル担当者が不在
- ・データ活用の方法がわからない
- ・パッケージ型のアプリでは対応できない
- ・デジタル上に顧客との接点がない
- ・ペーパーレスや脱ハンコができていない
- ・古いシステムのせいでアプリ導入できない
- ・経営戦略や方針が決められない

■課題解決のアプローチ

- ・顧客との対話を重視する
- ・ノウハウと技術を活かした最適な提案
- ・海外にある複数社のパートナー企業と協力

■はつかぜが出来る5つのこと

- ①最新で最適な機能の提案
- ②状況変化に強いアプリ開発
- ③旧システムからのデータの移行
- ④利用データの蓄積及び分析
- ⑤丁寧なヒアリングによる現状分析

■もたらさせる5つの結果

- ①初期費用を抑え、新たなユーザー体験を与える
- ②維持費を抑え、技術的負債を取り除く
- ③今まで通りの使える
- ④データを用いた意思決定を可能にする
- ⑤生産性や効率を高める

はつかぜの アプリ開発サービス

最後までお読みいただきありがとうございました。
はつかぜでは、様々な業種、業態のアプリ開発の実績があります。
アプリ開発のご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

07 アプリ開発の費用

初期費用
300~500万円ほど

保守費用/月
10~20万円ほど

上記の金額は、当社の実績から算出した
平均的な開発費用です。
開発するアプリによって、費用は変動します。
また、上記の費用に加えてサーバー費用が発生する
ケースも存在します。

08 アプリ開発の期間

3~6ヶ月ほど

アプリの種類によって、開発期間は異なります。

09 はつかぜへの お問い合わせはこちら

会社名
はつかぜ株式会社

問合せページ
<https://www.hatsukaze.co.jp/inquire/>

電話番号
06-6940-2866

FAX
06-6940-2867

住所
大阪市中央区城見2-1-61
ツイン21MIDタワー37F

問い合わせページ
(QRコード読込)

